

保護者の皆様へ

守口市立樟風中学校
校 長 吉本 卓

樟風中学校区携帯電話アンケートより

1. はじめに

現在、中学生年代においてスマートフォンに代表されるインターネット機器によるトラブルが、LINE 等の SNS を中心に多発し、大きな社会問題となっています。本校区においても、昨年度 LINE による誹謗中傷の書き込みや、写真の無断掲載等のトラブルが発生しました。また、携帯電話の依存に陥っている生徒も見られるため、4 月当初に「携帯電話の校内への持ち込み禁止の同意書」を配布し、生徒・保護者が同意しています。しかし残念なことです、一学期には LINE のグループトーク内でのやり取りやタイムライン上への掲載から、トラブルへ発展したケースがありました。

これらの状況を鑑みて、本校生徒のインターネット機器使用の実態を把握するべく、本校生徒とその保護者を対象に携帯電話のアンケートを実施することにしました。また、守口市教育委員会の小中一貫教育推進の観点から、樟風中学校区にある 4 小学校（三郷小・寺方小・橋波小・南小）の 4 年生から 6 年生までの児童・保護者も対象に加え、樟風中学校区内の実態把握に努めることとしました。

2. アンケート調査について

(1)実施日：平成 27 年 6 月

(2)対象：樟風中学校区 4 小学校の 4・5・6 年生児童と保護者、樟風中学校の全生徒と保護者

(3)見方について：以下の結果については、アンケートより特に気になる項目のみ抽出しています。

また、「全国平均」は、内閣府調査「平成 26 年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」の調査結果を参照にしています。

3. 4 小学校のアンケート結果より

(1) 児童の回答より

自由にインターネットにつながる機器を持っている児童が多い。(76.7%, 全国平均 62.9%)
特に、スマートフォン所有率が 27.7 % と全国平均 (11.7%) に比べて 16 ポイントも高い。

一方で、携帯電話所有率も 23.7 % と全国平均 (10.8%) の 2 倍以上である。
使用時間は 1 時間以内が 53.3 % (全国平均 27.9%)、22 時までの使用が 86.8 % と双方とも高いことは評価でき、一定の使用法を身に着けている結果だと思われる。

一方で、0 時以降に使用している児童も若干名 (2.4 %) おり、睡眠不足に陥っている児童が 11.6 % と 1 割以上に昇ることは注意が必要である。

また、家族とルールを決めている児童は 73.9 % と全国平均 (74.1%) と、ほぼ同程度であるが、トラブルに遭っている児童が 21.6 % と高いため (全国平均 18.5%)、「トラブルの未然防止に繋がるルール作り」と「トラブル発生時の速やかな対処」が求められる。

(2) 保護者の回答より

「青少年インターネット環境整備法」（平成21年4月施行）の法の存在や保護者の義務・責務については、「いずれかを知っている」が全国平均よりも高く（66.5%、全国平均52.1%）、保護者の関心の高さが窺える。また、家族とのルールの取り決めは84.8%と全国平均（88.6%）に比べると若干低いものの、一定の取り決めはできており、特に「困った時に保護者に相談する」ことを約束している家庭が多い（50.8%、全国平均43.8%）ことが特徴である。しかし、保護者と児童の間にルール取決め認識に差異（児童73.9%、保護者84.8%）が見られることは大きな課題である。

また、子どものインターネット使用を心配に思う保護者は32.8%と高いが、トラブルに遭っても保護者から学校に訴えることは少ないため（5.6%）、トラブルが発生しても発覚が遅れ、その間に問題が複雑化する傾向がある。

4. 樟風中学校のアンケート結果より

(1) 生徒の回答より

(*については、トラブルの特に気になる項目のみを掲載)

番号	質問項目	1年生	2年生	3年生	計	全国平均
1	インターネット機器所有率	89.7%	92.4%	95.2%	92.5%	86.8%
2	携帯電話所有率	19.2%	17.0%	17.3%	17.8%	16.7%
3	スマートフォン所有率	64.1%	74.2%	80.4%	<u>73.3%</u>	<u>37.3%</u>
4	携帯電話の使用時間（2時間）	36.6%	57.9%	51.9%	49.0%	47.4%
5	携帯電話の使用時間帯（22時以降）	34.5%	57.8%	70.4%	<u>55.1%</u>	
6	携帯電話の使用時間帯（0時以降）	7.6%	20.1%	14.0%	<u>14.0%</u>	
7	フィルタリング使用率	50.0%	55.3%	52.5%	52.6%	
8	インターネット トラブル被害率	62.2%	61.7%	67.0%	<u>67.0%</u>	<u>39.6%</u>
9	*悪口や嫌がらせのメールを送られたり、書き込みをされたことがある。	11.5%	6.3%	5.0%	<u>7.5%</u>	<u>3.8%</u>
10	*悪口や嫌がらせのメールを送ったり、書き込みをしたことがある。	1.9%	6.3%	3.4%	3.8%	1.0%
11	*他人が見ることができる掲示板等で、自分や他人の情報を書き込んだことがある。	3.8%	6.9%	5.0%	5.3%	3.1%
12	*親に話しにくいサイトを見ることができる。	3.2%	6.3%	2.2%	3.8%	1.3%
13	*インターネットで知り合った人とメール等のやり取りをしたことがある。	12.8%	15.7%	15.6%	14.8%	10.9%
14	*インターネットにより勉強に集中できなかつたり睡眠不足になつたりしたことがある。	22.4%	23.3%	26.3%	<u>24.1%</u>	<u>12.2%</u>

【課題】

自由にインターネットにつながる機器を持っている生徒が多い。（92.5%、全国平均86.8%）特に、スマートフォン所有率が73.3%と非常に高いことが特徴に挙げられる。（全国平均37.3%）

また、使用時間も2時間以上が49.0%と高く（全国平均47.4%）、22時以降の使用も55.1%と高い。特に、0時以降も使用している生徒が14.0%と高いことは大きな課題である。その結果、睡眠不足に陥っている生徒が24.1%と全国平均（12.2%）に比べて非常に高くなっている。また、トラブルに遭っている生徒が多い（67.0%、全国平均39.6%）ことは早急な対策が求められる。

(2) 保護者の回答より

番号	質問項目	1年	2年	3年	計	全国平均
1	青少年インターネット環境整備法（法・責務・義務）いずれかを知っている率	70.6%	73.9%	75.2%	73.3%	55.9%
2	子どものインターネット使用を心配に思う率	37.9%	44.1%	30.1%	36.6%	
3	トラブル発生時、学校への相談率(回答者21名)	29.4%	0.0%	0.0%	23.8%	

【課題】

「青少年インターネット環境整備法」の法の存在や、保護者の義務・責務については「いずれか知っている」が全国平均よりも高く（73.3%、全国平均55.9%）、保護者の関心の高さが窺える。

しかし、子どものインターネット使用を心配に思っている率が36.6%とそれほど高くないのに対し、前述のように、生徒のトラブル発生率が非常に高いこと（67.0%、全国平均39.6%）から、子どもの実情をどこまで把握しているかに課題が残る。改めて、保護者が子どものインターネット使用の現状把握に努める必要性が感じられる。

(3) 生徒と保護者の比較（*は「ルール取り決め」で「はい」と答えた生徒・保護者を100%とした数値）

番号	質問項目	対象	1年生	2年生	3年生	計	全国平均
1	家族とのルール取り決め率	生徒	59.0%	57.2%	49.2%	54.9%	69.3%
		保護者	86.3%	86.3%	75.5%	82.1%	85.2%
2	*利用する時間を決めている。	生徒	48.9%	54.9%	37.5%	47.2%	32.8%
		保護者	66.7%	36.4%	33.3%	39.6%	37.3%
3	*困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている。	生徒	43.5%	38.5%	26.1%	36.2%	26.6%
		保護者	84.6%	61.4%	50.9%	57.8%	44.7%
4	*課金の利用方法を決めている。	生徒	44.6%	38.5%	27.3%	36.9%	23.7%
		保護者	84.6%	67.0%	52.8%	60.1%	34.8%
5	*利用する場所を決めている。	生徒	14.1%	15.4%	15.9%	15.1%	22.5%
		保護者	44.9%	29.5%	24.1%	28.7%	40.2%
6	*パスワードや電話帳情報・位置情報等の情報がばれないようにしている。	生徒	29.3%	29.7%	33.0%	30.6%	18.3%
		保護者	30.8%	27.3%	18.5%	22.4%	19.4%
7	*利用するサイトやアプリの内容を決めている。	生徒	16.3%	7.7%	8.0%	10.7%	14.5%
		保護者	61.5%	30.7%	28.7%	35.0%	27.4%
8	*他人の悪口を書き込まない等、送信・投稿する内容を決めている。	生徒	17.4%	16.5%	9.1%	14.4%	12.9%
		保護者	62.8%	45.5%	45.4%	45.5%	29.3%
9	*メールを送る相手を決めている。	生徒	19.6%	7.7%	4.5%	10.7%	8.4%
		保護者	20.5%	19.3%	9.3%	14.2%	14.3%

【課題】

家族とルールを決めている生徒が少なく（54.9%、全国平均69.3%）、保護者の認識と差異があると（82.1%、全国平均85.2%）、更に「利用する時間を決めている」の項目が高い（47.2%、全国平均32.8%）ものの夜遅くまで使用していることや、更に「困ったときに保護者に相談する」率が、保護者は57.8%

(全国平均 44.7%) と高い数値であるのに対し、生徒は 36.2 % と大きな差が見られること (全国平均 26.6%) から、保護者の目の届かないところでの使用が想像される。

その結果、前述のように保護者がインターネットの使用を心配に思わずに (36.6 %)、問題が深刻化してから表面化する恐れが懸念される。

5. 他校の取り組み

SNS 等の使用については、全国的に各中学校単位や市町村単位でルール作成が行われている。

(1) 熊本市立江南中学校の取り組み

ルール 1 健康を守ろう	① 10時以降は、情報通信をしない ② 寝るときは、極力電源を切って、返信や投稿をしない
ルール 2 友情を守ろう	① 見た人が傷ついたり不愉快に感じたりする言葉は使わない ② 悪意のあるグループを作らない・入らない ③ 相手の身になって考える
ルール 3 プライバシーを守ろう	① 個人情報をネットに載せない (画像・氏名など) ② 誰にでも見せられる情報・言葉しか書き込まない ③ 知らない人からの書きこみは無視する

(2) 東京都台東区立学校の取り組み

・児童が守る 4 つの約束
① 夜 10 時以降 (小学生は夜 8 時以降) は、携帯電話やスマートフォンは保護者に預け使用しません。
② 名前やメールアドレス及び個人が特定できる写真は、公開しません。
③ 無料通信アプリ等を利用するときには、自分が言われて嫌だと思えることを書きません。
④ 困ったことや、分からないことがあったら、必ず保護者や先生に相談します。
・保護者が守る 3 つの約束
① 保護者は、子供の携帯電話・スマートフォンの使用状況を確認します。
② 保護者は、約束の時刻になったら、子供の携帯電話・スマートフォンを預かります。
③ 保護者は、子供を有害サイトから守るためフィルタリングをつけます

6. 今後の予定

樟風中学校では、生徒指導部で作成した「アンケート集計と考察」を生徒会執行部 (生徒の代表) と P T A 役員 (保護者の代表) に報告し、現状の課題を三者 (教職員・生徒・保護者) で共有すると共に、それぞれの観点から課題解決の方策を検討していきます。

生徒会執行部は、執行部会で課題の解決方策としての自主的ルールの制定について協議し、全生徒に「携帯電話によるトラブル状況と携帯の使用ルールについて」のアンケートを実施し、生徒会が自主的に検討した『携帯電話の使用ルール案』を作成します。P T A 役員は、ルール案を生徒会執行部との交流会で協議し、両方で「樟風中学校での携帯・スマートフォンの使用ルール (仮称)」を作成します。教職員は、「協議して作成したルール」を遵守できるように、三者一体となって取り組んで参ります。

携帯電話の適切な使用は、生徒の生活習慣の改善だけでなく、生徒の学習力を高める上でも大事なことでと考えております。アンケート調査から問題点を考え、自主的にルールを作成していく姿勢は、校訓の『自学・自律』に沿った樟風中学校の校風を確立する大きな一歩になることと確信しています。

なお、この取り組みは樟風中学校区連携推進協議会が主催する教育フォーラムで発表する予定です。